

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感～

令和3年7月28日号 多治見市教育委員会 教育総務課

土曜学習 「科学に挑戦2021」

7月10日(土)に、とうしん学びの丘エールを会場にして、今年度第1回目の土曜学習を開催することができました。『科学に挑戦2021～多治見の理科の先生大集合～』というタイトルで行いました。小学校1年生から中学校1年生までの計52名の児童生徒が参加しました。また、22名の中学生ボランティアに参加してもらうことができてもうれしく思いました。



当日は、まず1時間目として、昭和小学校の中嶋校長先生に「科学の話」を実施していただきました。子ども達は、液体窒素を使った実験を交えながら、 -196°C という極低温の世界を楽しく学びました。液体窒素の中に入れて、ゴムボールを落とす実験では、粉々に割れる様子を目にして驚く姿が印象的でした。

2時間目は、16人の理科の先生に『科学実験・科学工作』を実施していただきました。『見えない空気で遊ぼう』『おもしろ科学工作』『紙コップを使った実験』『磁石の力で動くおもちゃを作ろう』『光の反射 万華鏡づくり』『身の回りの気体の性質を調べよう』『光と色の不思議』『身の回りの材料を使って電池を作り、電池の仕組みを考えよう』の8つのコーナーに分かれて楽しく活動しました。床に紙コップを3つ並べて、その上に机の天板を置いて立つという実験では、予想に反して紙コップがつぶれることなく両足で立てたことに驚いていました。このようにどのコーナーにおいても、科学を楽しむ姿があふれる土曜学習でした。



食育センターが完成しました



7月15日(木)に、食育センターの竣工式が行われました。調理場見学エリアや調理実習室や研修室も充実しています。まさしく食育の拠点となる素晴らしい施設が完成しました。食育推進課を設置し、本格的に稼働できるように準備を進めています。

弁護士による「いじめ未然防止授業」

多治見市では、昨年度よりいじめの未然防止対策の一つとして、人権を守る法律の専門家である弁護士による授業を実施しています。この取組は、多治見市教育委員会が県弁護士会と協力して初めて事業費を予算化したものです。6月30日には多治見中学校の1年生5クラスが、7月7日には南姫小学校の5年生が学びました。

【7月6日 岐阜新聞より一部抜粋】

「いじめられる人も悪い」「悪いことをした人は、いじめられても仕方ない」という考えの落とし穴について、具体例を挙げながら展開。「誰でも幸せに生きていい」権利を傷つけること、自分の言葉がその人の心のコップの最後の1滴になるかもしれないことなどを、段階を踏まえながら丁寧に説き、人権についての考えの根本をおさらいした。生徒達も活発に意見を伝えた。

授業後の生徒の感想を少し紹介します。

- ・いじめはいけないと改めて思った。言葉は大きな力を持っていることが分かった。
- ・自分も気づかないうちに人の心を傷つけているかもしれないから言葉には気をつけたいと思った。
- ・いじめをする人、される人だけではなく、それを見ている人の行動もとても大切だと思った。

◇今後も、児童・生徒が人権という視点で『いじめ』問題を身近な問題として見つめ直すことができるように、本事業を進めていきたいと考えています。

